

第194回 杏林大学医学部倫理委員会議事録

日 時： 平成28年6月20日（月） 13:00～14:15

場 所： 本部棟11階南側会議室

構 成 員 数： 12名

出 席 者： 古瀬純司 岩下光利 神谷 茂 苅田香苗 大川昌利

坂本ロビン 萩原玉味 吹野俊郎

オブザーバー 跡見 裕 渡邊 卓

欠 席 者： 木下千鶴 藤岡保範 大瀧純一 岩隈道洋

（出席委員数/全委員数：8/12名）

- A. 議題
1. 審査 6件
 2. 報告 89件
 3. その他

- B. 資料
1. 研究倫理審査申請書
 2. 研究倫理審査報告書

C. 議事の経過要領

古瀬倫理委員長が議長となり、医学部倫理委員会規定に基づく充足数を満たしていること及び第4条第1項第2号（倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者）並びに第3号（一般の立場を代表する者）の委員の出席を確認し、本委員会が有効に成立する旨報告があった。前回の議事録の確認が行われ、異議なく承認された。

1. 審査

（1）申請番号 H28-016（新規）研究責任者：伊東裕二 学内講師（眼科学）

「増殖糖尿病網膜症/前増殖糖尿病網膜症を伴った糖尿病黄斑浮腫に対するアイリーア®の効果の検討」

委員長は、審議に先立ち研究責任者に当該研究の概要説明を求めた。概要説明を踏まえ倫理的観点及び科学的観点から討議を行った結果、条件付承認とする。

《条件》申請書類を修正し提出すること。委員長確認の後承認とする。

- ① 使用する医薬品は一般名で統一し記載すること。但し、初出のみ一般名に括弧書きで商品名を付すこと。
- ② 有効性の評価方法及び評価項目について研究実施計画書に追記すること。
- ③ 必要に応じて監査を実施しなければいけないが、当該研究ではモニタリングと監査担当者が同教職員になっており適切ではない。監査を実施するのであれば、本学医学部及び医学部付属病院の者が監査を担当しても構わないが、本学に属しない外部の者に依頼することが望ましい。

- ④ 説明文書「9.この臨床研究に参加しなかったときの治療法」1行目の「抗 VEGF 薬（アフリベルセプトまたはルセンチス®）」の使用方法、投与頻度等を追記すること。
- ⑤ 研究実施計画書「4.予定酸化数および統計学的事項」に「T&E 群」とある。括弧書きで正式名称を記載すること。
- ⑥ 研究対象者の選択基準を 18 歳以上としており、20 歳未満の未成年が含まれることから、研究倫理審査申請書 13.同意欄未成年者への代諾について記載すること。

(2) 申請番号 H28-021 (新規) 研究責任者：土岐真朗 助教 (内科学Ⅲ)

「ERCP 関連手技におけるエアーネックピローの有用性の検討」

委員長は、審議に先立ち研究責任者に当該研究の概要説明を求めた。概要説明を踏まえ倫理的観点及び科学的観点から討議を行った結果、変更の勧告（修正した上で再審査）とする。

《変更勧告》勧告に従い申請書類を修正し提出すること。委員長確認の後再審査とする。

- ① ヘルシンキ宣言の記載が 2000 年改訂と記載されている。2013 年改訂に修正すること。
- ② 後向き研究と前向きな臨床試験を別にして計画を立てること。後向き研究のデータに基づいて、前向き研究を計画するのが適当。
- ③ ランダム化の研究であることを明記し、手順も記載すること。
- ④ 参考文献を明記すること。
- ⑤ 目標症例数の設定根拠を明記すること。
- ⑥ 研究実施計画書「2.4.研究実施期間」に「研究の延長を申請する.」とあるが、半年以内の延長であればそのまま研究を継続し、超える場合には期間延長を申請する旨を記載して構わない。
- ⑦ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則って前向きランダム化比較試験の研究計画を再検討すること。
- ⑧ 参考として、唾液腺由来のアミラーゼを大学内で 2-3 時間で測れるのであれば、このような試験は不要ではないか、できないかどうか確認すること、今回の枕を使う不利益がないのであれば、ランダム化比較試験を行う意義があるのかどうか、再検討すること。

(3) 申請番号 H28-022 (新規) 研究責任者：土岐真朗 助教 (内科学Ⅲ)

「内視鏡的截石術におけるバスケット吸引法の有用性の検討」

委員長は、審議に先立ち研究責任者に当該研究の概要説明を求めた。

説明に先立ち土岐助教から内視鏡学会より「截石術」を今後「結石除去術」に統一する旨指摘を受け、これらに関し訂正したい旨報告があった。概要説明を踏まえ倫理的観点及び科学的観点から討議を行った結果、変更の勧告（修正した上で再審査）とする。

《変更勧告》勧告に従い申請書類を修正し提出すること。委員長確認の後再審査とする。

- ① ヘルシンキ宣言の記載が 2000 年改訂と記載されている。2013 年改訂に修正すること。
- ② 後向き研究と前向きな臨床試験を別にして計画を立てること。後向き研究のデータに基づいて、前向き研究を計画するのが適当。
- ③ ランダム化を行う担当者も含めランダム化の手順を記載すること。
- ④ 参考文献を明記すること。

- ⑤ 目標症例数の設定根拠を明記すること。
- ⑥ 研究実施計画書「2.4.研究実施期間」に「研究の延長を申請する.」とあるが、半年以内の延長であればそのまま研究を継続し、超える場合には期間延長を申請する旨を記載して構わない。
- ⑦ 胆石除去バルーンカテーテルとバスケット吸引法のメリットとデメリットを記載すること。
- ⑧ 患者説明文書「2.本臨床研究の意義と目的」が研究計画書と概ね同内容の記載になっている。患者が理解できるように分かりやすく記載すること。また、英語を使用せず分かりやすい日本語を用いること。
- ⑨ 患者説明文書「5 あなたの健康に被害が生じた場合」及び「9 予想される臨床上の危険性または不便について」を一つに纏め、予想される可能性のある危険性・不利益について記載すること。また利益についても記載すること。
- ⑩ 当該研究に登録できない患者に対する治療の手順についても記載すること。

(4) 申請番号 H28-023 (新規) 研究責任者：岡野尚弘 任期制助教 (内科学Ⅲ)

「Borderline resectable (ボーダーライン・レセクタブル) 膵癌に対する術前化学療法としてのゲムシタビン+ナブパクリタキセル(GEM+nab-PTX) 療法の feasibility 試験」

岩下委員長代理は、審議に先立ち研究責任者に当該研究の概要説明を求めた。概要説明を踏まえ倫理的観点及び科学的観点から討議を行った結果、条件付承認とする。

《条件》申請書類を修正し提出すること。委員長代理確認の後承認とする。

なお、当該研究の研究代表者である古瀬純司委員長は本審議及び採決に参加していない。

- ① 術後補助化学療法を 4 コース行うとあるが、実施計画書「エンドポイントの設定根拠」及び「プロトコール治療完了基準」では 6 コースと記載されている。訂正すること。
- ② 補助化学療法で使用する抗がん剤「S-1」の製剤名を付し、実施計画書「対象に対する標準治療」に切除が出来た場合についてガイドラインで標準治療となっている旨を追記すること。併せて、添付文書も提出すること。
- ③ 説明文書「副作用について」に記載されている「患者さん向けの説明パンフレット」を提出すること。併せて、具体的に副作用を追記すること。

(5) 申請番号 H28-015 (新規) 研究責任者：本多五奉 医員 (消化器・一般外科)

「Solid-pseudopapillary neoplasm の分子異常解析」

委員長は、審議に先立ち研究責任者に当該研究の概要説明を求めた。概要説明を踏まえ倫理的観点及び科学的観点から討議を行った結果、条件付承認とする。

《条件》申請書類を修正し提出すること。委員長確認の後承認とする。

- ① 多施設共同研究の代表機関としての手順を追記し、当該研究に参加する研究施設の一覧を提出すること。
- ② 研究実施計画書「2 背景」に記載されている目的を更に詳しく分かりやすく修正すること。

- ③ 患者説明文書「1.はじめに」1行目「Solid-pseudopapillary neoplasm」とある。どういう疾患なのか文中に追記すること。
- ④ 患者説明文書「10.4 プライバシーの保護と患者識別」に匿名化とある。連結可能匿名化なのであれば、対応表の管理方について追記すること。
- ⑤ 研究対象者が既に亡くなっている場合の同意の取得について追記すること。
- ⑥ 研究倫理審査申請書「13.同意」代諾者の未成年の対象が19歳となっている。「20歳未満」に訂正すること。また、死者にもチェックをすること。

(6) 申請番号 H28-017 (新規) 研究責任者：井上真 教授 (眼科学)、説明者：厚東隆志 講師
「網膜動静脈閉塞症に対する組織型プラスミノゲンアクチベータの網膜血管内治療の有効性の検討」

委員長は、審議に先立ち研究責任者に当該研究の概要説明を求めた。概要説明を踏まえ倫理的観点及び科学的観点から討議を行った結果、変更の勧告 (修正した上で再審査)とする。

《変更勧告》勧告に従い申請書類を修正し提出すること。委員長確認の後再審査とする。

- ① 全体的に研究計画書と患者説明文書が分かりにくい。特に説明文書の疾患・治療等の説明について患者が理解しやすいように記載すること。
- ② 保険請求となっているが、当該研究での治療法が保険適用外であれば、保険請求した際に査定されない根拠を示すこと。当該治療のガイドラインでの扱い、今までの治療法との違い等も含めて背景と目的について詳しく記載すること。
- ③ 研究計画書に参考文献の引用箇所がない。記載すること。
- ④ 研究計画書「5.予定症例数ならびに研究期間」に「有効性および治療の安全性を確認するための最低症例数」とあるが、そのことについて詳しく追記すること。
- ⑤ 研究計画書「6.有害事象発生時の対処方法、安全性、不利益に対する配慮」に具体的にどのような有害事象が想定されるのか記載すること。
- ⑥ 患者説明文書に当該研究の方法、患者の利益・不利益について記載がない。
- ⑦ 患者説明文書「1.臨床研究について」4行目「硝子体手術中に網膜血管内へ微小血管針を利用して」とあるが、この関連性と手順について記載すること。
- ⑧ 健康被害の補償も含めて研究計画について検討すること。

2. 報告

(1) 迅速審査により承認された新規申請課題 8 件について報告され、倫理的観点及び科学的観点からも妥当であると承認された。

No	申請番号	申請者	所属	職名	研究課題
1	H27-182	道又 元裕	看護部	看護部長	DPC データを活用した看護量を推計するシステムの開発とその妥当性の検証
2	H27-193	望月 桂	高度救命救急センター	看護師	低血糖を呈した嘔吐・下痢症状の小児患者に対する院内トリアージの検討
3	H28-003	神崎 恒一	高齢医学	教授	高齢者の認知症予防におけるゴルフの効果検証
4	H28-004	金城 真実	泌尿器科	医員	糖尿病患者における下部尿路症状、排尿機能に関する研究
5	H28-006	高橋 香澄	1-3 病棟	副主任	ALL を発症した自閉症の子どもと家族への看護
6	H28-002	森元 能仁	薬剤部	技師	胸膜癒着療法による胸痛、発熱のリスク因子の検討
7	H28-005	小川 ゆかり	内科学 (I)	助教 (任)	JCOG1201/TORG1528 高齢者進展型小細胞肺癌に対するカルボプラチン+エトポシド併用療法(CE 療法) とカルボプラチン+イリノテカン併用療法 (CI 療法) のランダム化比較第 II/III 相試験
8	H27-179	鳥村 祥子	2-5 病棟	師長	眼科術後腹臥位を行う患者の苦痛と期待する援助

(2) 迅速審査により審査された研究計画等の変更申請課題 19 件について、軽微な変更と認め承認された。

No	申請番号	申請者	所属	職名	研究課題
1	H26-082-03	奴田原紀久雄	泌尿器科学	教授	泌尿器悪性腫瘍における遺伝子変異探索研究
2	H27-119-01	宮内 弘子	総合医療学	助教 (任)	失神症候に対するリスク因子抽出に関する研究
3	H26-031-04	有村 義宏	内科学 (I)	教授	再発性 ANCA 関連血管炎 (AAV) の寛解維持療法におけるリツキシマブとアザチオプリンを比較する、オープンラベル、ランダム化国際共同試験
4	H25-079-03	栗田 昌和	形成外科	臨床専攻医	血管腫・血管奇形の病態生理に関する基礎的研究
5	H27-090-01	横山 琢磨	内科学 (I)	助教	FGFR 遺伝子変化等の稀な遺伝子変化を有する肺扁平上皮癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究
6	H24-144-04	横山 琢磨	内科学 (I)	助教	RET 融合遺伝子等の低頻度の遺伝子変化陽性肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究
7	H26-093-02	川名 典子	看護部	師長	「看護師のための、がん患者とのコミュニケーション・スキル・トレーニング」評価のための調査研究
8	H24-051-04	近藤 晴彦	外科学	教授	Oxaliplatin が本邦に導入された後の大腸癌肺転移症例に対する肺転移切除の意義を検討する多施設共同後ろ向き臨床研究
9	H27-055-01	横山 健一	放射線医学	准教授	Aquilion ONE における多列検出器を活かした胸部を中心とする全身の高速・高精細撮像法の臨床的有用性についての研究
10	H26-010-03	相磯 聡子	保健学部 臨床検査技術学科	教授	肺癌の診断・治療効果判定のためのバイオマーカーとしての血中マイクロ RNA に関する解析研究
11	H27-172-01	百瀬 博一	消化器・一般外科	医員	腹腔鏡レンズ術中洗浄装置の有用性についての前向き研究
12	H27-131-01	松本 由美	2-3 A 病棟	師長	精神科準開放病棟における離院の要因の実態調査

13	H27-047-02	成毛 大輔	内科学 (腫瘍科)	助教 (任)	大腸癌以外の消化器・腹部悪性腫瘍におけるがん関連遺伝子異常のプロファイリングの多施設共同研究 SCRUM-Japan GI-screen 2015-01-Non CRC
14	H26-002-02	宮崎 典子	産婦人科	医員	早産予防に対するプロゲステロン膣坐薬の有効性に関する多施設共同、プラセボ対照、二重盲検、ランダム化並行群間比較試験
15	H27-136-02	奴田原 紀久雄	泌尿器科学	教授	これまでに実施された常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) 対象のトルバプタン臨床試験の成人被験者における、肝障害のリスク増加に関連する遺伝子マーカー/バイオマーカーの探索のための採血を目的とした国際共同試験
16	H26-083-02	要 伸也	内科学 (I)	教授	血液透析における血液流量 (QB) の設定と治療効果に関する臨床的検討
17	H25-013-04	伊藤 有美	保健学部 看護学科 成人看護学	講師	人工呼吸管理中の患者の疼痛評価に影響する要因についての検討
18	H26-005-02	桶川 隆嗣	泌尿器科学	教授	末梢血循環がん細胞の検出法の開発研究
19	H25-131-02	佐藤 大	耳鼻咽喉科学	助教 (任)	頭頸部扁平上皮癌に対する S-1+放射線併用療法 臨床第 I 相試験

(3) 迅速審査により審査された実施状況報告課題 3 2 件について、承認された。

No	申請番号	申請者	所属	職名	研究課題
1	H27-136-01	奴田原紀久雄	泌尿器科学	教授	これまでに実施された常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) 対象のトルバプタン臨床試験の成人被験者における、肝障害のリスク増加に関連する遺伝子マーカー/バイオマーカーの探索のための採血を目的とした国際共同試験
2	H26-158-01	長島 文夫	内科学 (腫瘍科)	准教授	悪性軟部腫瘍に対する経口マルチキナーゼ阻害薬パゾパニブの毒性に影響を与える因子の検討
3	H25-140-04	成毛 大輔	内科学 (腫瘍科)	助教 (任)	進行再発大腸癌における KRAS minor, BRAF, NRAS, PIK3CA などのがん関連遺伝子異常のプロファイリングの多施設共同研究 SCRUM-Japan GI-screen 2013-01-CRC
4	H26-170-01	井本 滋	外科学	教授	HER2 陽性乳癌に対する術前トラスツズマブ+化学療法における Ki-67 index を用いた治療選択研究 外科付随研究 －術前化学療法前後での乳房温存術の適応についての研究－
5	H26-134-01	高山 信之	内科学 (II)	教授	成人 Burkitt 白血病に対する多剤併用化学療法による第 II 相臨床試験 (JALSG Burkitt-ALL213)
6	H26-133-01	高山 信之	内科学 (II)	教授	高リスク成人骨髄異形成症候群を対象としたアザシチジン投与方法に関する臨床第 III 相試験－検体集積事業に基づく遺伝子解析研究を含む－ JALSG MDS212 study および厚生労働科学研究費補助金による検体集積事業との合同研究－JALSG MDS212 Study (MDS212)－
7	H26-132-01	高山 信之	内科学 (II)	教授	小児および若年成人における T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第 II 相臨床試験 JPLSG ALL-T11/JALSG T-ALL-211-U ALL-T11
8	H25-126-02	高山 信之	内科学 (II)	教授	急性前骨髄球性白血病に対する亜砒酸, GO を用いた寛解後治療第 II 相試験 (JALSG APL212 study)
9	H25-118-03	高山 信之	内科学 (II)	教授	初発慢性期の成人慢性骨髄性白血病に対するニロチニブとダサチニブの分子遺伝学的完全寛解達成率の多施設共同前方視的ランダム化比較試験 (JALSG CML212 study)
10	H22-112-05	高山 信之	内科学 (II)	教授	成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植療法を組み込んだ治療法に関する非ランダム化検証的試験 (JCOG0907)

11	H26-172-04	永根 基雄	脳神経外科学	教授	初発膠芽腫に対する放射線療法併用テモゾロミド、ベバシズマブ療法および増悪または再発後のベバシズマブ継続投与の有効性と安全性を検討する第Ⅱ相臨床試験
12	H26-178-05	永根 基雄	脳神経外科学	教授	JCOG1308：再発膠芽腫に対する用量強化テモゾロミド+ベバシズマブ逐次併用療法をベバシズマブ療法と比較する多施設共同ランダム化第Ⅲ相試験
13	H24-155-03	永根 基雄	脳神経外科学	教授	症候性脳放射線壊死を対象としたベバシズマブの静脈内投与有効性と安全性に関する臨床的研究
14	61-04	永根 基雄	脳神経外科学	教授	脳腫瘍の遺伝子解析ならびに薬剤感受性の検討
15	H23-165-04	慶野 博	眼科学	准教授	IgG4 関連リンパ増殖性疾患群における網羅的遺伝子発現解析
16	H26-018-02	慶野 博	眼科学	准教授	フォークト・小柳・原田病の発症初期に対するステロイド薬・シクロスポリン併用療法
17	H27-005-03	横山 健一	放射線医学	准教授	1.5T ならびに 3T MRI における形態・機能情報取得機能を生かした心臓を中心とする全身の高速・高精細撮像法の臨床的有用性についての研究
18	H26-168-02	谷合 誠一	内科学（Ⅱ）	学内講師	ロトリガ粒状カプセル 特定使用成績調査 OCEAN3（Outcome prevention on Cardiovascular Events by Antihyperlipidemic therapy with N3-fatty acid in Japan）
19	H27-010-01	大崎 敬子	感染症学	准教授	萎縮性胃炎および胃癌患者の胃内フローラの解析－ <i>Helicobacter pylori</i> による持続感染および発癌を調節する胃内細菌の探求－
20	H25-004-02	松岡 弘芳	外科学	准教授	治癒切除不能進行大腸癌に対する原発巣切除における腹腔鏡下手術の有用性に関するランダム化比較第Ⅲ相試験（JCOG1107）
21	H25-160-02	松岡 弘芳	外科学	准教授	肛門近傍の下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術の前向き第Ⅱ相試験 Prospective Phase II Trial of Laparoscopic Surgery for <u>Ultra-low Rectal Cancers within Five Centimeters from the Anus or Three Centimeters from the Dentate Line.</u> （ULTIMATE TRIAL）
22	H21-060-03	松岡 弘芳	外科学	准教授	JCOG-0903 大腸癌肝転移切除後患者を対象としたフルオロウラシル/1-ロイコボリンとオキサリプラチン併用補助化学療法（mFOLFOX6）vs. 手術単独によるランダム化Ⅱ/Ⅲ相試験
23	H21-054-04	松岡 弘芳	外科学	准教授	臨床病期Ⅱ/Ⅲ 肛門扁平上皮癌に対する S-1+MMC を同時併用する根治的放射線療法の臨床第Ⅰ/Ⅱ相試験（JCOG0603）
24	H27-001-01	岡田 アナベル あやめ	眼科学	教授	加齢黄斑変性に対するアイリーア Treat & Extend 法の有効性評価における多施設共同研究
25	H26-008-05	樋口 聡	内科学（Ⅱ）	助教（任）	非心臓手術における周術期心房細動の予後調査
26	H27-012-01	秋元 義弘	解剖学	教授	糖尿病性腎症に伴うタンパク質への糖修飾（O-GlcNAc 化）の変化の免疫組織化学的解析
27	H27-017-01	橋本 佳和	外科学	助教（任）	院内鏡視下手術認定制度における研修医を対象とした体内結紮実技試験の成績の開示
28	H26-002-03	田中 啓	産婦人科	医員	早産予防に対するプロゲステロン膣坐薬の有効性に関する多施設共同、プラセボ対照、二重盲検、ランダム化並行群間比較試験
29	H26-176-01	佐藤 徹	内科学（Ⅱ）	教授	新国際慢性肺血栓栓症データベースへの症例登録研究
30	H25-011-07	古瀬 純司	内科学（腫瘍科）	教授	進行胆道癌を対象としたゲムシタピン+シスプラチン併用療法（GC療法）とゲムシタピン+S-1併用療法（GS療法）の第Ⅲ相比較試験（JCOG1113試験）
31	H25-138-07	永根 基雄	脳神経外科学	教授	テモゾロミド療法後の再発あるいは腫瘍増悪悪性神経膠腫に対する「ベバシズマブ+ニムスチン（ACNU）併用療法」
32	H26-152-01	森井 健司	整形外科	准教授	日本人における軟部肉腫に対するパゾパニブの治療効果

(4) 安全性情報に関する報告 1 件について報告された。

No	申請番号	申請者	所属	職名	研究課題
1	H25-109-17	成毛 大輔	内科学 (腫瘍科)	助教 (任)	Fluoropyrimidine、Oxaliplatin、Irinotecan を含む化学療法に不応または不耐の <i>KRAS</i> 野生型進行・再発結腸・直腸癌に対する Regorafenib と cetuximab の逐次投与と cetuximab と regorafenib の逐次投与のランダム化第Ⅱ相試験

(5) 中止報告 3 件の提出があり、当該研究課題の中止について報告された。

No	申請番号	申請者	所属	職名	研究課題
1	H25-100-02	倉井 大輔	内科学 (Ⅰ)	学内講師	口腔内細菌数測定器が誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアの指標になるかを明らかにするためのパイロット研究
	H21-065-02	軽部 美穂	内科学 (Ⅰ)	学内講師	生物学的製剤使用関節リウマチ患者の長期安全性研究
	H25-156-01	軽部 美穂	内科学 (Ⅰ)	学内講師	日常診療における目標達成に向けた治療 (Treat to Target、T2T) 実践アウトカム測定のための HAQ 調査

(6) 終了報告書 26 件の提出があり、当該研究課題の終了について報告された。

No	申請番号	申請者	所属	職名	研究課題
1	H26-152-02	森井 健司	整形外科	准教授	日本人における軟部肉腫に対するパゾパニブの治療効果
2	H24-078-01	三輪 陽介	内科学 (Ⅱ)	助教	イグザレルト錠 特定使用成績調査 (SPAF-QOL) - 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 (QOL 調査) -
3	H26-174-01	萬 知子	麻酔科学	教授	百万本を対象とする世界規模の末梢静脈カテーテル研究 (OMG study) - 多施設大規模調査研究への参加 -
4	369-03	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	教授	コルチゾール 6B-水酸化代謝クリアランスを指標とするタキサン系抗がん剤の化学療法適性化に関する臨床試験
5	H23-179-05	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	教授	肝細胞癌に対する新規抗癌剤の副作用ならびに治療効果に関わる遺伝因子の網羅的遺伝子解析 (Genome-wide association study : GWAS) 国内共同研究
6	H27-014-01	米谷 正太	臨床検査部	主任技師	MALDI-TOF MS を用いた血液培養ボトルからの直接菌種同定法における前処理法の検討
7	H25-091-01	渡邊 佳子	小児外科学	学内講師	腸管不全に対する小腸移植技術の確立に関する研究 腸管不全の予後因子に関する調査
8	H27-003-01	菊地 俊暁	精神神経科学	講師	認知行動療法の施行による向精神薬処方の変化についての実態調査
9	H26-135-01	高山 信之	内科学 (Ⅱ)	教授	成人 precursor T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法による第Ⅱ相臨床試験 (JALSG T-ALL213-O)
10	H26-115-01	高山 信之	内科学 (Ⅱ)	教授	初発フィラデルフィア染色体陽性成人急性リンパ性白血病を対象としたダサチニブ併用化学療法および同種造血幹細胞移植の臨床第Ⅱ相試験 (JALSG Ph + ALL213)
11	H25-122-01	高山 信之	内科学 (Ⅱ)	教授	イマチニブで分子遺伝学的完全寛解を 2 年間以上維持した慢性期の慢性骨髄性白血病症例に対する薬剤中止試験 (JALSG STIM213 study)
12	H23-063-05	永根 基雄	脳神経外科学	教授	化学療法、放射線療法を施行した膠芽腫例における効果予測因子および予後因子に関する研究 (初発膠芽腫に対するインターフェロン-β+テモゾロミド併用化学療法放射線療法のランダム化第Ⅱ相試験 (JCOG0911) の付随研究)
13	H23-142-04	永根 基雄	脳神経外科学	教授	悪性脳腫瘍克服のための新規治療標的及びバイオマーカーの創出

14	H22-121-05	永根 基雄	脳神経外科学	教授	テモゾロミド療法後の再発あるいは腫瘍増悪悪性神経膠腫に対する用量強化テモゾロミド療法
15	H26-072-05	永根 基雄	脳神経外科学	教授	膠芽腫 (GBM) 患者長期生存例の検討：多施設共同研究
16	H25-009-04	菅 浩隆	形成外科学	講師	ヒト単球・マクロファージ系細胞の創傷治癒過程における役割の解明
17	H23-004-04	塩川 芳昭	脳神経外科学	教授	スタチンによる小型脳動脈瘤の増大抑制および破裂予防効果に関する多施設ランダム化比較試験
18	H24-057-03	滝澤 始	内科学 (I)	教授	ぜん息患者の増悪及び未発症成人の発症の予測のための気道バイオマーカーの確立とその大気汚染物質の影響評価への応用に関する調査研究
19	H27-121-01	小暮 正晴	外科学	助教 (任)	多施設共同観察研究「膵頭十二指腸切除術における慢性肝障害の影響に関する研究」
20	H27-141-01	森山 潔	麻酔科学	准教授	日本の救命救急センター・集中治療専門研修施設における重症妊婦産褥婦に関する実態調査
21	H26-007-02	森山 潔	麻酔科学	准教授	消化管穿孔術後患者における緑膿菌抗 PcrV 療法の可能性
22	H27-089-01	保坂 利男	内科学 (III)	講師	糖尿病治療に関連した重症低血糖の調査研究
23	H26-126-02	倉井 大輔	内科学 (I)	学内講師	医療・介護関連肺炎診療の実態調査
24	H23-161-02	佐藤 徹	内科学 (II)	教授	肺高血圧症の治療法を比較検討する国際共同前向き症例登録研究
25	H26-127-02	井本 滋	外科学	教授	センチネルリンパ節転移陽性・非郭清乳癌の予後に関する後ろ向き研究
26	H25 解-1-03	山田 千歩	法医学	助教 3月末退職	悪性症候群剖検例における免疫組織化学的研究

以上

次回医学部倫理委員会 平成28年7月25日 (月) 13時00分